

# 新型コロナ（Covid-19）の感染と米食の相関分析

2020/12/30 飯沼一元

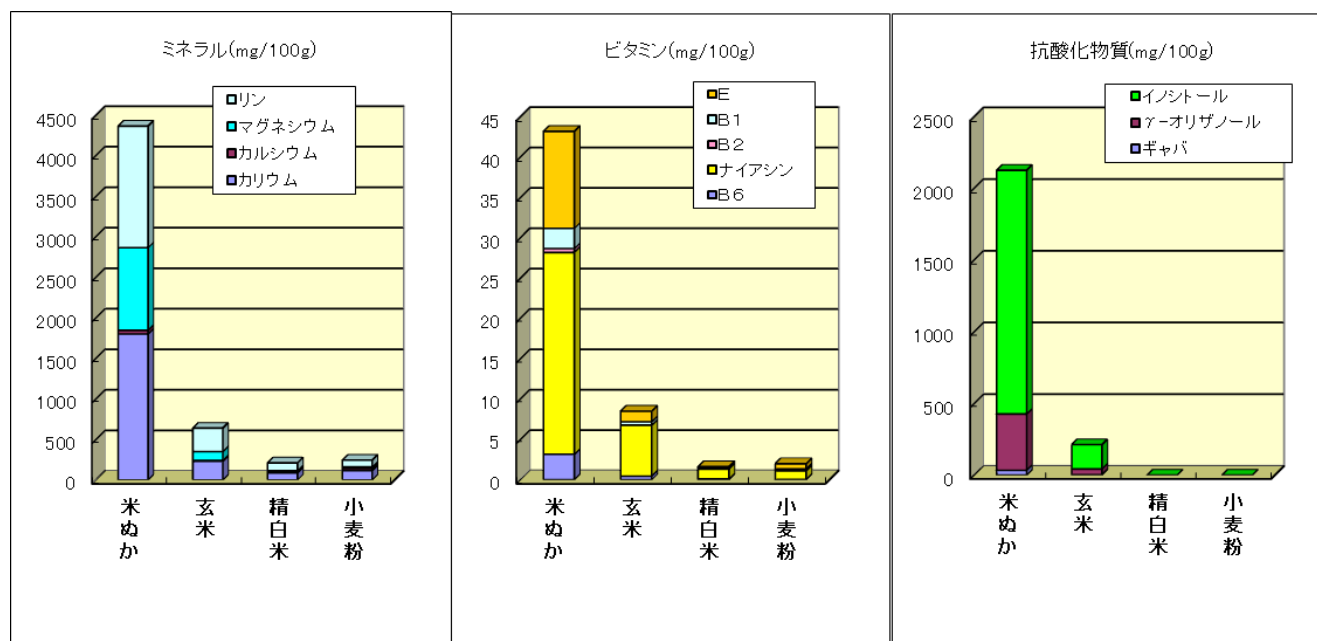
Covid-19 では IT の普及により人類史上初めて地球規模での疫学統計データが集計された。その結果、欧米の感染者数はアジアの 40 倍も多いことが明らかになった。何故このような大差がついたのか？ キスマスクをはじめとする生活スタイルの違いなどの定性的な説明やマイクロ医学的視点からの研究はあるが、マクロ統計的観点からの研究は皆無である。

筆者らは「医食同源」という健康の規範に則り、「主食」と「感染」の相関を統計分析し、感染者数は米消費量と強い負の相関を示すことを明らかにした(1~2)。つまり、欧米の主食は麦、アジアの主食は米という主食の違いが、40 倍もの大差を生んだ原因であることを突き止めた。

一方、玄米食者は腸内細菌が良く、腸内細菌が良いと免疫能が高まることが知られていることから(3)、米食者の方が自然免疫能がより高くなるために、感染耐性が高まるという因果関係が示唆される。IgA 欠乏疾患は欧米に多く、アジアに少ない(4)が、統計的には米消費量と強い負の相関を示す(5)

コロナ感染は拡大を続けており、この 6 か月で感染者数は約 10 倍に増加した。そこで、今般上記統計解析を 2020 年 6 月と 12 月とでの経年変化を比較し、あらためて仮説の検証を試みた。その結果、世界の主要 19 カ国（総人口 46 億人、世界人口の 57%）に対して、100 万人あたり感染者数の決定係数は 6 月 0.61、12 月 0.54、また、死者数に対しては 6 月 0.54、12 月 0.62 となり、米消費量に対して強い負の相関を維持していることが判明した。

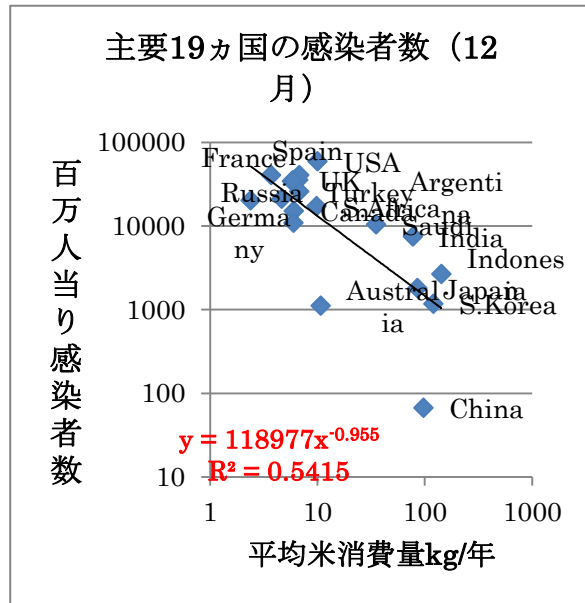
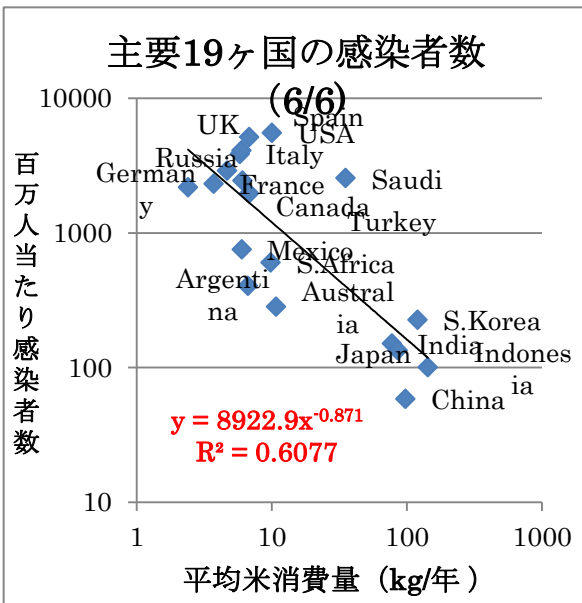
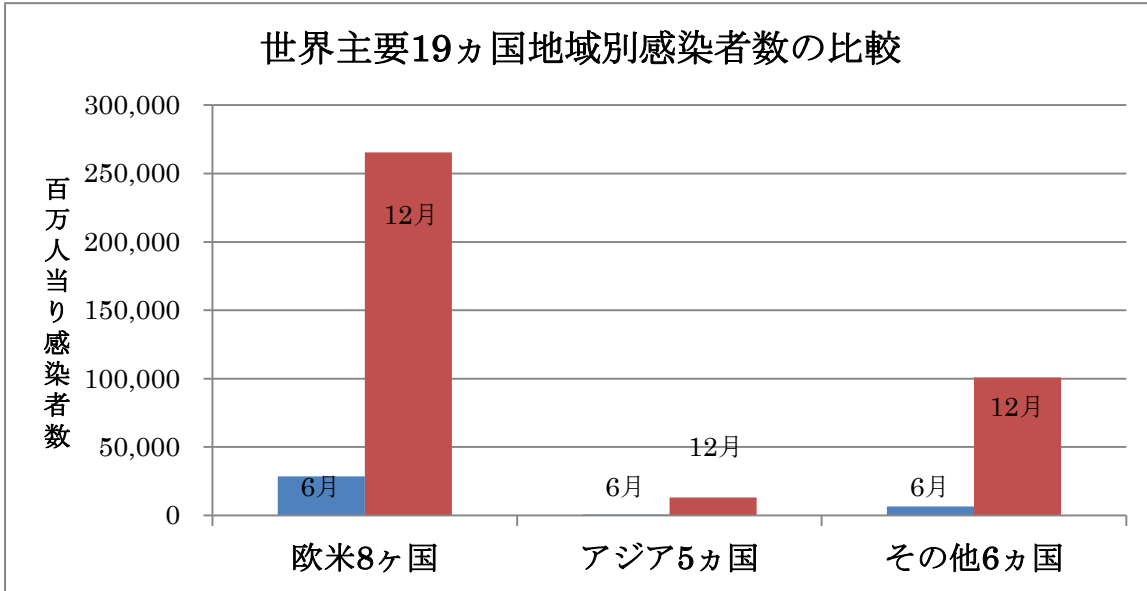
玄米が腸に良い理由は玄米の表皮部分の米ぬかに機能性栄養素が豊富に含まれているためである。



米や小麦粉に含まれる 100 当たりの主な機能性栄養素の比較(6)

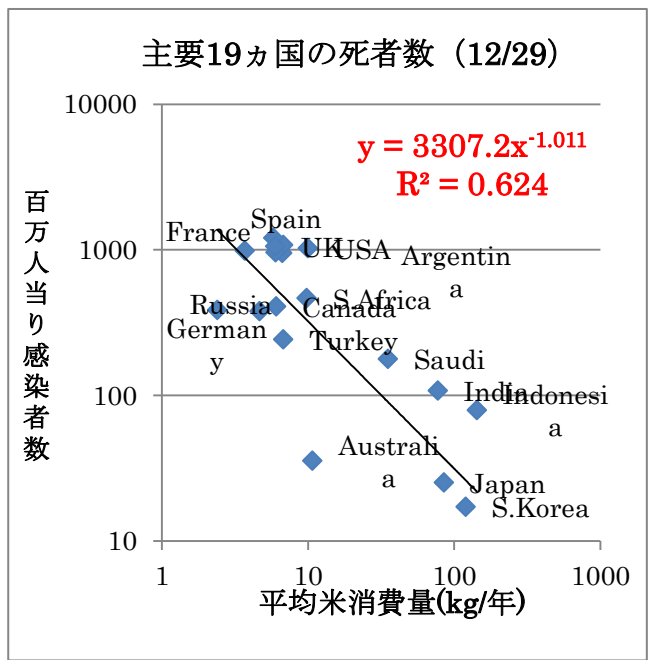
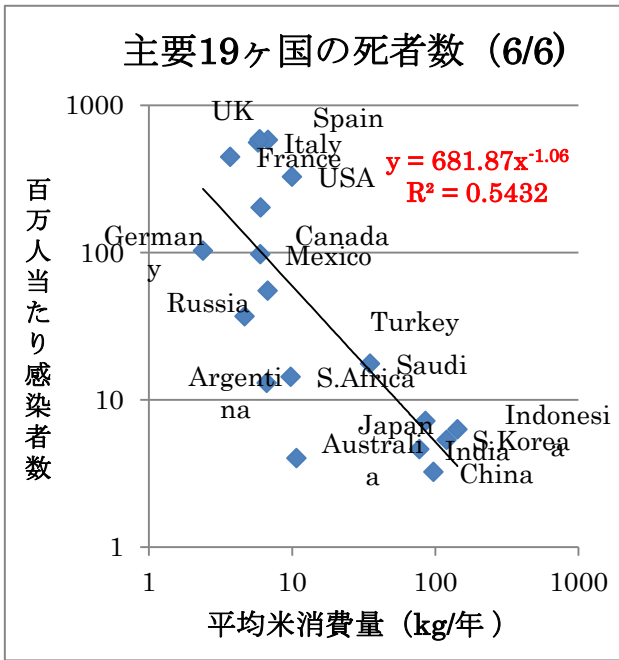
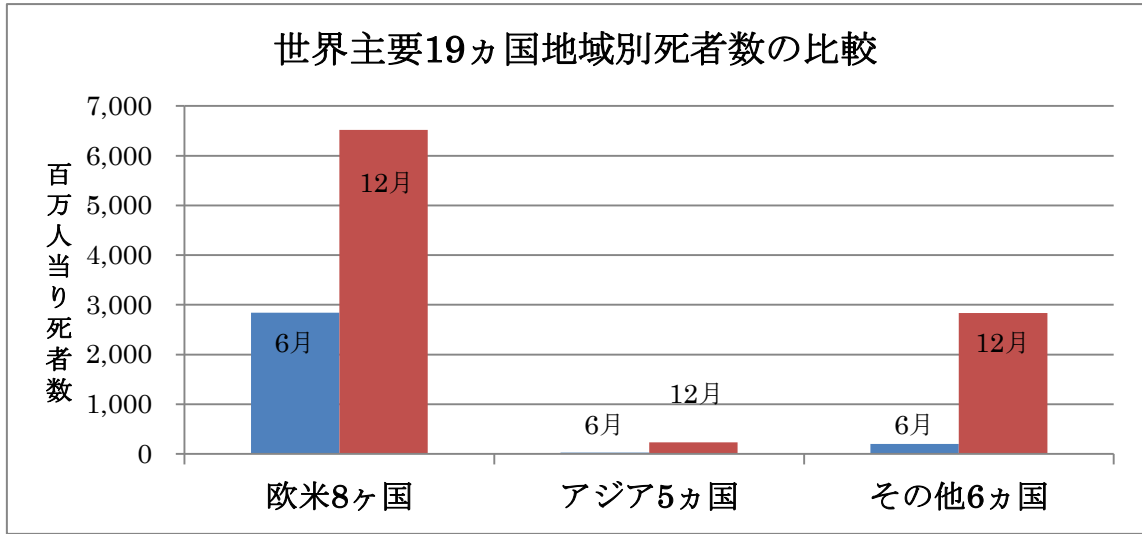
以下に詳細を示すとともに、共同研究者に免疫モデルの精緻化をお願いしている。

19ヶ国感染者数と米消費量の相関 6月/12月比較



100万人当り感染者数	6月	12月	増加率
欧米8ヶ国(人口8.4億人)	28,492	265,483	9.3
アジア5ヶ国(人口32.5億人)	670	13,113	19.6
その他6ヶ国(人口3.7億人)	6,567	100,899	15.4
合計(人口44.6億人)	35,729	379,495	10.6
米消費量との相関決定係数	0.6077	0.5415	<b>0.89</b>

19ヶ国死者数と米消費量の相関 6月/12月比較



100万人当り死者数	6月	12月	増加率
欧米8ヶ国(人口8.4億人)	2840	6519	2.3
アジア5カ国(人口32.5億人)	27	233	8.7
その他6カ国(人口3.7億人)	201	2833	14.1
合計(人口44.6億人)	3067	9585	3.1
米消費量との相関決定係数	0.543	0.624	1.1

## 参考文献

1. Watanabe S, Inuma K, Low COVID-19 Infection and Mortality in Rice Eating Countries  
Scholarly Journal of Food and Nutrition, June 25 ,2020:326-327
2. 飯沼一元、渡邊昌、米消費量と新型コロナ（COVID-19）感染者数の統計的解析、医と食第 12 巻 4 号、197-202, Aug1, 2020
3. Watanab3.Hirakawa A, Aoe S, Watanabe S, Hisada T, Mocizuki J, Mizuno S, et al. The nested study on the intestinal microbiota in GENKI Study with special reference to the effect of brown rice eating. J Obes Chronic Dis 2019; 3(1):11-13.
4. Watanabe S, Naito Y, Yamamoto T. Host factors that aggravate COVID-19 pneumonia. Int J Fam Med Prim Care. 2020; 1(3): 1011-1014.
5. Watanabe S, Inuma K. The Combined effects of IgA-mediated immunity and rice consumption in suppressing COVID-19 infections. Scho J Food & Nutr. 3(2)-2020. SJFN.MS.ID.000158. DOI: 10.32474/SJFN.2020.03.000158.
6. 文部科学省発行 日本食品分析表 5 訂（2000 年版）データを使ってグラフ化

以上